

2021 年 6 月 25 日 (新様式第 2 版)

2018 年 4 月 1 日 (新様式第 1 版)

医療機器届出番号 34B2X00004000012

機械器具 80 はり又はきゅう用器具

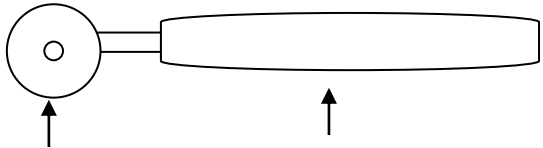
一般医療機器 非能動型接触鍼 JMDN コード 70613001

大宝接触鍼(型式大宝ローラー)

禁忌・禁止

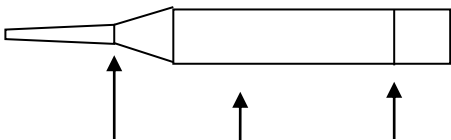
* 口腔や眼球には使用しないで下さい。 * 金属アレルギー * 製品を分解して使用しないで下さい。

形状、構造及び原理等 (図面は 1 本ローラーの場合)



ローラー

持ち手



先端頭部

保持部

ネジ式キャップ

寸法規格

(ローラー部) * 寸法許容誤差±0.2mm

ローラー(長さ)	30	40	50	60	70	80	90	100	120	140
ローラー(直径)	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
持ち手(長さ)	100	110	120	130	140	150	160	170	180	190
持ち手(直径)	15	17	19	21	23	25	27	29	31	33

(押圧用器具) * 寸法許容誤差±0.2mm

押圧用器具(全長)	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60
押圧用器具(直径)	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26
先端頭部(長さ)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
保持部(長さ)	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90
保持部(直径)	5	8	10	12	14	16	18	20	22	24

(色彩テープ) * 寸法許容誤差±0.2mm

テープ(直径)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
テープ(縦)	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95
テープ(横)	25	28	30	33	45	38	40	43	45	48

● 使用目的、又は効果

使用目的 東洋医学の治療に於いて、体表からの刺激を与える事を目的として使用する。

効果 肩こり、腰痛等の筋肉痛の押圧になる体表から刺激。ローラーの太さの違うものを使用する事で筋肉の伸び縮みによる指圧の原理や、ローラー及び持ち手の先端部に押圧用器具を付ける事で押圧による鍼鍼の効果。

● 使用方法等

胸から下の分部に使用する時は、下から胸の方へ一方通行で使用して下さい。又胸から上の部分に使用する時は、上から下へ一方通行で使用して下さい。

● 使用上の注意

*使用中、使用後に身体に異常が現れたときは、使用を中止して専門家の指導をうけてください。

*使用する時は、必ず衣類の上から使用下さい。

*使用後は綺麗なタオルで乾拭きしてください。

*ローラー部は水洗いや洗剤等は使用しないで下さい。

*使用頻度によりますが使用中異音がする時や、滑りが悪く

なった時は市販の潤滑油を少しだけローラー回転部に塗ってください。

● 保管方法及び有効期間等

保管方法

- * 直射日光・高温多湿の場所での保管は避ける。
- * 開封後は清潔、小児の手の届かない場所で保管。
- * 強力な磁場の影響を受ける場所は避ける。

有効期間

- * 必要に応じて、製造から原則3年とする事もある。
- * 有効期間の表示は、商品包装の外装・ヘッダー等に明記する。

● 包装

*個別に必要単位で包装。

製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等

製造販売業者：大宝医科工業株式会社

住 所：広島市安佐北区三入一丁目 25-9

電 話 番 号：082-818-2511

製 造 業 者：大宝医科工業株式会社